

ている。これを受け、国税庁は納税手続きなどで負担軽減措置をとっている。

だが、所得税の年末調整は今のところ特に変わりはない。これに対し、税理士から「今年の年末調整をやめて欲しい」という声が上がっている。

年末調整の書類が難しすぎるように、「確定申告書を書くほうがよほど簡単だ」と言われている。控除制度の変更で、例年以上に複雑になっているようだ。

また、所得の内容が多様になり、親族の所得を年内に正確に見積もるのは難しくなっている。扶養者情報の修正による事務負担も増大しつつある。

もともと年末調整は、申告納税制度に抵抗していた当時の大蔵省が事務負担を減らすために導入したものだ。だが、税制の民主

化という申告納税の趣旨に合わない指摘も出てきた。

税額の精算手続きを勤め先が行うので、多くの給与所得者を税制から遠ざけ、無目撃者にしてしまった。おまけに企業は、その作業の費用を負担させられている。

そもそも日本の源泉徴収の仕組みは厳格な自己完結型で、国際的にもまれである。

わかりやすく言うところ、多くの国々はおおまかな税率で一律に税金を前取りし、後から確定申告で調整させる制度だが、日本では税率などが細かく規定され、確

定申告しなくても済むようにされている。過大徴収などのミスは源泉徴収自体を是正しなければならず、申告での調整が許されない制度とも言える。

今の仕組みは問題が多い。思い切って今年度は年末調整をやめ、確定申告で最終調整できるようにしてみてもどうか。 (比較)

年末調整やめてみては

この欄は、第一線で活躍している経済人、学者ら社外筆者が執筆しています。